

LS研 研究分科会、短期研究分科会テーマ推移(2021~2025年度)

※ イエロー = 短期研究分科会テーマ
 ② : 同一テーマ2分科会
 ★ Leading-edge Systems研究 最優秀賞、● Leading-edge Systems研究 優秀賞、○ Leading-edge Systems研究賞
 ◆ Leading-edge Systems 独創的研究賞

2021年度

- テレワークにおけるコミュニケーションを中心とした働き方の研究 ● ②
- ニューノーマルにおける人材育成に関する研究
- Withコロナ、Afterコロナの新たな企業活動形態における情報システム部門の役割に関する研究

2022年度

- ITリテラシー向上における情報システム部門の役割についての研究
- DX推進のための、内製化復活のメリットとデメリットについての研究
- 心理的安全性と成果を両立させる全体最適のプロジェクトマネジメントの研究

2023年度

- DX推進におけるプロセスマイニング技術活用に向けた研究
- メタバース・Web3.0の活用による新しいビジネスモデルの研究(メタバース・Web3.0の活用によるビジネス変革) ②

- データ分析による品質管理のためのプロジェクト管理指標についての研究

2024年度

- 「SF思考」による未来の情報システム部門の姿・戦略的価値の研究 ② ◆
- デジタル空間でのコミュニケーションの在り方・活用法の研究
- エンタープライズアーキテクトの役割と育成の研究

- 企業のデジタル化における情報システム部門とユーザー部門の役割についての研究
- 10年後の情報システム部門の在り方についての研究

2025年度

- Fit to standardアプローチに基づくシステム間の整合性確保の研究
- ビジネスアジャリティ実現に向けたIT部門の在り方に関する研究

- AI技術活用の進化による企業課題の研究
- 広域被災を想定した実効性あるBCPに関する研究
- ウェルビーイングの向上を目指したIT部門の取り組みの研究

戦略 DigitalStrategy

技術 Digital Technology

運用 IT Service Management

新分野

戦略 DigitalStrategy

技術 Digital Technology

運用 IT Service Management

新分野

- 全社規模のデータ活用を継続的に運用する DataOps の研究
- データマネジメント基盤構築のための技法の研究
- ゼロトラストにおける企業セキュリティの在り方に関する研究
- ハイブリッド/マルチクラウドに向けたシステム構成の設計と選択指針に関する研究 ★● ②

- アジャイル開発技法の評価に関する研究
- DX実現に向けたローコード開発プラットフォームの選定・導入と開発技法の研究
- AIを活用した熟練者技術/スキルの伝承に関する研究
- テレワークによるリモート開発手法の研究

- プロセスマイニング技術による現行業務やシステムの可視化技法に関する研究

- クラウドネイティブ環境におけるシステム実装の研究 ①アプリ～アジャリティと非機能要件の両立～
- クラウドネイティブ環境におけるシステム実装の研究 ②インフラ～コンテナ適用・運用～ ★
- 開発生産性向上とシステム安定稼働を両立するローコード設計・開発技法の研究
- DB・パッチ資産を安心・安全にクラウドリフトする技法の研究
- データ利活用におけるスマールスタートとアジャイル型成長のための推進プロセスとアーキテクチャーの研究 ●

- システム開発業務への生成AI適用技法の研究 ②
- テキスト生成AIの適用検討プロセスの研究

- デジタルツイン技術の活用についての研究

- テレワークにおけるシステム運用業務のあり方の研究 ● ②

- 業務サービスの正常稼働担保に関する方法論の研究 ★◆
- 既存システムの運用業務へのAI技術活用の調査・研究 ②●
- クラウドにおけるシステム運用スキルセットの研究

- SDGs経営を見据えたICTの活用に関する研究

- 運用部門・機能のコスト評価手法に関する研究
- ローコード開発プラットフォームの運用保守に関する研究
- ゼロトラストセキュリティにおけるICTシステムの運用管理要件に関する研究
- ICTシステム運用関連業務のDX化計画立案に関する研究

- ICT運用組織の機能強化に関する研究
- 生成AIによるシステム運用業務効率化の研究 ②
- DXツール導入後の有用性に関する研究

- 社内向けITサービスデスクへ生成AIを適用する方法の研究

- 将来の環境変化に対応可能なITシステムの運用技術に関する研究

- 運用業務におけるAI技術の適用領域と効果的な導入に関する研究